

事務事業名	吉田グリーンシャワーの森管理事業	所属部	産業振興部	所属課	産業施設課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	産業施設グループ	課長名	安部哲男
	施策名	(38)観光の振興	担当者名	田部雄二	電話番号	0854-40-1093
	目的:対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	(内線)	2423
	基本事業名	(117)受け入れ施設の充実	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 0 1 8	観光施設管理事業 グリーンシャワーの森施設管理事業	
目的:対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理業務</li> <li>施設修繕業務</li> <li>施設維持業務</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)	28年度計画(28年度に計画する主な活動)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者更新業務</li> <li>指定管理者協議</li> <li>施設工事業務【4,093千円】(厨房改修工事)(屋外照明柱更新工事 他)</li> <li>施設維持業務(施設用地借地事務)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者協議</li> <li>施設工事業務(浄化槽設置工事)</li> <li>施設維持業務(施設用地借地事務)</li> </ul>				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 指定管理者協議	回	3	4	4	4
	イ 施設修繕・工事箇所	箇所	10	4	5	2
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設利用者(市内外)</li> <li>②指定管理者</li> </ul>	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	40,055	39,472	38,990	38,968
		イ 日本の人口	千人	127,298	127,083	127,110	126,193
		ウ 指定管理者	組織	1	1	1	1
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設利用者の増加</li> <li>②指定管理者による効果的な管理運営</li> </ul>	ア 施設利用者	件	1,674	1,807	1,900	1,900	
	イ 指定管理料	千円	7,350	7,560	7,773	7,773	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>【需用費】 122千円</li> <li>【委託料】 7,826千円</li> <li>【修繕費】 121千円</li> <li>【工事請負費】4,093千円</li> <li>【賃借料】 281千円</li> <li>【備品購入費】 438千円</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金	千円				
計 12,881千円		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	9,804	13,114	12,881	10,374
		事業費計(A)	千円	9,804	13,114	12,881	10,374
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	150	180	200	
		人件費計(B)	千円	584	700	783	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	10,388	13,814	13,664	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> <li>中国横断自動車道尾道松江線の開通に伴う交通アクセス環境の改善により施設利用者が増加傾向となっている。</li> <li>指定管理者による喫茶部門の運営努力により市内外からの利用者に好評を得ている。今後さらに施設機能を高め、周辺の観光関連施設との連携を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料や借地契約の見直しにより運営経費の縮減を図った。</li> <li>備品整備や修繕を継続実施し、コテージの宿泊環境や管理棟での暖房、居住環境の改善を図った。</li> <li>道の駅たたらば壱番地において当施設情報の発信を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>尾道松江線開通に伴い県外、市外からの施設利用者、宿泊者の増加が期待をされている。</li> <li>宿泊棟、水道施設、管理棟等老朽化した施設の修繕・改修要望がある。</li> <li>道の駅たたらば壱番地等の観光関連施設との連携強化をより図りたいとの要望がある。</li> </ul>

事務事業名	吉田グリーンシャワーの森管理事業	所属部	産業振興部	所属課	産業施設課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	近接するインターチェンジを活用し、道の駅たたらば壱番地等と連携を図りながら、より魅力ある施設情報を発信することで、観光客を同施設へ誘導し、施設利用者を増加させることが可能である。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	市内の宿泊や観光・自然体験、地域間交流の施設として有効に機能している面もあり、宿泊者や観光客、施設利用者の利便性が低下する。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段(類似事業名))		「菅谷たたら山内」等、近隣の観光施設と連携した宿泊、休憩、飲食施設としての機能提供
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由		町内や市内の観光施設(指定管理者)との連携により、同一エリア内における特色ある観光事業や観光情報を共有して集客を図ることが可能であるため。
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		施設修繕等については、継続的に一定の事業費が必要であるとともに、宿泊機能を伴う施設として、幅広い利用者ニーズに適応していく必要があるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		指定管理に係る業務の他、施設修繕等への対応業務を有するため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		市内外に向けた宿泊、自然体験・交流施設等であるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		施設維持保全を修繕、改修等の実施により対応している。指定管理者においても、快適な施設維持、改善、軽微な修繕、及び喫茶部門の開設や地域情報の提供等きめ細やかなサービスに対応し、良好な施設管理維持ができています。また、尾道松江線開通効果もあり、利用者数は増加傾向となっているため、一層の効果的な施設管理運営が必要である。
B 有効性	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		●																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						
<p>・平成27年3月の中国横断自動車道尾道松江線全線開通により、近接するインターチェンジの活用や、「道の駅たたらば壱番地」等との連携により施設利用者の増加を図っていく必要がある。</p> <p>・施設の老朽化に伴う改修についても、利用者ニーズに沿いながら、より質の高いサービスを提供するための改修を検討し、計画的に実施していくことが必要である。</p> <p>・同施設の近郊に所在するたたら製鉄の文化遺産「菅谷たたら山内」は、改修保存事業が進む中で、来訪者、観光客も増加する環境下となっている。従って、同エリアへの観光客等が利用する宿泊・休憩、交流施設として、同施設が果たす機能もより期待されるので、一層の施設情報発信に取り組み。</p> <p>・平成27年度に厨房改修工事を実施したことにより、飲食サービスがより向上すると見込まれるため、これにより施設全体の利用者の増加を目指していく。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)て成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								